
花房 晴美 Harumi Hanafusa, Piano

“巨匠ピアニスト名鑑のHの項に、クララ・ハスキル、ウラディーミル・ホロヴィッツに並んで、いずれ花房晴美の名が刻まれるであろう。” —ハイファイステレオ誌

華麗な演奏が魅力の、日本を代表するピアニストの一人。国際的にも高く評価されている。

桐朋学園高校を首席で卒業後、パリ国立音楽院で学ぶ。エリーザベト王妃国際コンクール他、数々の国際コンクールに入賞。国内でのリサイタルの他、NHK 交響楽団をはじめとする日本の主要オーケストラとの共演も数多い。最新 CD は日本アコースティックレコーズより「フランス・ピアノ作品集 ～花房晴美ライブ・シリーズⅡ」があり、レコード芸術で特選盤に選ばれる。

国外での活動も活発で、2011年1月にはニューヨークカーネギー・ホールでニューヨークデビュー公演を行い、2013年3月にはマイケル・シンメル芸術センター（ニューヨーク）にて、「西村朗：ピアノ協奏曲〈シャーマン〉」をアメリカで初演し、大きな話題を呼んだ。

2010年からシリーズ・パリ音楽のアトリエを東京文化会館でスタートさせ今日まで第14回続いており、第15回は2018年11月15日（木）に予定している。

花房 真美 Mami Hanafusa, Piano

国立音楽大学付属高校、国立音楽大学を経て、同大学大学院修士課程修了。1982年草月ホールのリサイタルを皮切りに数多くの演奏会に出演、群馬交響楽団との協奏曲や室内楽の分野でも活躍、多くのコンクール審査員を務めるなど幅広い活動を行っている。

1992年から実姉花房晴美と「花房シスターズ・ピアノデュオ」の本格的な活動をスタートさせ、全国で数多くのデュオの演奏会を行い、東京都交響楽団、新星日本交響楽団、神奈川フィル、仙台フィル、大阪センチュリー交響楽団、九州交響楽団などのオーケストラとも共演。

2011年は王子ホールにてソロ・リサイタルを行い、絶賛を博した。

2012年、13年には花房晴美 室内楽シリーズにて、フランク、オーギュスタ・オルメス、ミヨー作曲の珍しい連弾、2台ピアノ作品を演奏した。

録音は、「ア・グレイスフル・フレーム」をフォンテックよりリリースしている。

現在、昭和音楽大学、同大学院、同短期大学部講師。

(平成30年8月現在・転載禁止)